

下位春吉 （註） イタリア研究家。明治二十六年十月福岡縣生れ。昭和二十九年十一月二十日没（八十三（九五））。筆名としておはるきやう、ことをお春吉。東京高等師範學校卒。イタリアに渡りて撞頭期のムッソリーニの影響を受け大正十四年歸國、興國青年黨を興ぐると資金難で二年后に解散。再度イタリアに赴き昭和八年歸朝、昭和神皇會參謀として活動してゐたが、のち多くの譯著を以て専らアマツシヨ・イタリアの宣傳に従事。

等書に『倒れんとする伊國青年』（大正十四年一月十五日大民俱樂部國家を救ひたる伊國青年）（四版・大正十四年十一月十日自刊、福

部）、『健哉リッツオ艇長』（四版・大正十四年十一月十日自刊、福

岡・下位郷友會）、『大戦中のイタリア』（大正十五年十一月十五日

信義堂書店）、『下位春吉式熱血熱淚の大演説』（内題「滯伊十八年

より歸りて」昭和八年十月一日大日本雄辯會講談社「ロキング」第九卷

第十號別冊附録）、『死都ポンペイを訪ふたゆゑ』（附ナポリ市内と郊

外の鬼物）（昭和十一年六月十日日本郵船株式會社船客課）、『今

日のイタリア』（シルコ・アルデマーニ共著、昭和十五年八月二十日

大民社出版部「大民文庫」）、『アマツシヨ・イタリアの社會事業』

（昭和十五年十月十五日シルコ・アルデマーニ刊）、『裏のら覗いた、

英國』（ゾオロ・モネリリ合著、昭和十六年一月二十日イタリア大使

館情報官室）等。譯書に、ウーゴ・チンニ著『原料奪奪の世界戦』（昭

和十五年一月十二日改造社）、ガレアツツオ・チヤーノ著『現下の國

際情 イタリアの立場』（昭和十五年二月十五日シルコ・アルデマーニ

刊）、ルイデ・ブルジーニ著『英米襟形二冠』（昭和十六年二月五日

イタリヤ大使館情報官室）、ズニート・ムッソリーニ著『嚴冬の後の

陽春來る』(昭和十六年六月十五日イタリヤ大使館新聞情報官室)
 マリオ・アツパリウス著『我等の備へあり』(昭和十六年六月二十八日イタリヤ大使館情報官室)等。



下位春吉氏熱血熱涙の大演説

キング 第九巻 第十號附録

キング 第八巻 十月號附録

下位春吉氏
熱血熱涙の大演説

貴は天賦の才、小説の如く
 面白く書して大成功、日本國民
 全部是非御一顧を要めます。

大日本雄辯會談社